（別紙様式例3）

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和 6年 2月 26日

事業所名: ひよこ園事業

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	13	0	0	•目的を持って活動できるよう、パーテーションで区切ったり、各エリアの子どもさんの人数を調整したりすることでスペースを確保するように努めています。	28	0	1	0	•狭いと思う。 •スペースは狭いが活動に合わせて仕切られているのがいいなと思います。 •サーキットなどプレイルームで広々と出来ている印象です。	•圧迫感のないようパーテーションの高さや壁の装飾などを工夫し、子ども達が楽しめる活動を提供しながら、スペースを有効に活用していきます。
	2	職員の適切な配置と専門性	13	0	0	•職員は適切に配置されています。クラス職員が不足する時にはパート職員が入り対応しています。	28	1	0	0	•いつもしっかりとアドバイスしてくださってありがたいです。頼りにしています。 •わからない事を質問すると丁寧に教えてくれます。とてもありがたいです。	•クラス職員が休みの時はパート職員が補助で入り人員確保できるようにしています。 •いつでも遠慮なくご相談ください。電話やコドモンでも相談を受け付けております。今後も保護者の方と連携を取り合って支援を行っていきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	13	0	0	•子どもさんの特性に応じた場所や時間の構造化を行い状況理解しやすい環境を整えています。また一人ひとりの子どもさんに合わせた視覚的手がかりを活用し、自ら発信できやすい環境を整えています。	27	1	1	0	•一人ひとりにあったスケジュールや支援をしてくれているなと感じます。	•物理的構造化を行い、いつ、どこで、何を、どのようにするのか、また一つのことが終わったら次何をするのかわかりやすいよう環境を整えています。また、相互伝達の為の手段を確保し、伝え合えるよう今後も配慮していきます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
環境・体制整備	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	13	0	0	・設備等の老朽化については、改善の必要性がある部分について、計画的に修繕を行っています。毎日清掃を行い気持ちのよい環境を整えています。また、整理整頓に日々心掛け、子どもさんが生活しやすい環境作りになるよう努力します。 ・換気、消毒、清掃に充分配慮しています。	27	0	1	1	・先生方がよく子どもたちが帰った後に掃除していただいており感謝です。	・感染症の対策をはじめとする清潔、安全に心掛けた環境整備を日々行っていきます。また老朽化している設備は修繕し、安心して使用できるよう整備していきます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	13	0	0	・年度ごとの事業計画の作成に全員が関わり、業務の改善を進めるために目標と振り返りをすることで意識を高めています。						
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	0	13	・第三者による外部評価は実施していません。						
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	13	0	0	・新型コロナウイルス感染症の対策の為、今年度も園外研修への参加を控えましたが、園内研修やWEB研修に関しては積極的に取り組みました。月1回、STによる研修を行っています。また、施設長、児発管、STによる新人研修、看護師研修を行っています。						
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の方のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	13	0	0	・保護者の方に支援に関するニーズの聞き取りを行った上で、各クラス職員、児童発達支援管理責任者、保護者の方とでミーティングを行います。また子どもさんのフォーマル、インフォーマルな評価を適切に行い、それらをもとに児童発達支援計画を作成しています。	29	0	0	0	・毎月の個別懇談で悩みなど聞いてくれるのでそれに応じた計画書になっていると思います。	・ミーティングで子どもさんと保護者の方のニーズを聴取し、児童発達支援計画を作成しています。また、適宜評価を行い支援の見直しをしています。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	13	0	0	•児童発達支援計画の作成に関しては、ガイドラインを確認し作成しています。 •支援内容は目標に沿って具体的に示し、個別懇談で説明しています。子どもさんの成長に応じて、支援内容が変わることもあり、それについては月の記録に細かく記載しています。	29	0	0	0		
	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	13	0	0	•アセスメントや保護者の方の希望をもとに個別活動と集団活動を組み合わせて児童発達支援計画を作成しています。						
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	13	0	0	•児童発達支援計画にもとづいた連絡ノートを作成し、保護者の方にも支援の進捗状況をわかりやすくしています。また、支援がより適切に行えるようクラス内で支援計画の情報を共有しています。 •保護者の方と情報を共有し、園、家庭共に適切な支援が実施できるようにしています。						
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	13	0	0	•日々の生活日課や活動のプログラムについては、クラス内で相談し、立案しています。 •発達年齢別グループ指導については、反省会で出た内容をもとに立案を行っています。						
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	10	3	0	•季節ごとの遊びや個々に興味の持てそうな遊びを取り入れています。 •今年度は子どもさんの興味関心に合わせたグループを編成し、活動を行いました。内容がマンネリ化しないよう工夫し、子どもさんが楽しいと感じる内容になるよう努力します。	29	0	0	0	•子どもの好きなエリアでの活動を組み込んでくださったり追加してくださったりしていてありがたいです。 •よく工夫していただいており子どもも楽しみにしています。バリエーションがもう少し広がればいいなとは思います。 •週間スケジュールが毎週送られてきて様々な活動をしてくれています。	•年齢や発達の特性を考慮しながら、子どもたちが興味を持ちワクワクするような活動プログラムを考えていきます。また季節感を感じられるような遊びが提供できるようにします。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
適切な支援の提供（続き）	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援				非該当						
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	12	1	0	・療育前のクラス準備やクラスミーティングの時に、支援内容とその方法の周知を行っています。新しい活動に取り組む時や新しい支援を開始する前、また変更点に関しては特に念入りに打ち合わせをしています。						
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	9	4	0	・療育室の片付けや翌日の準備をしながら振り返りや伝達を行っていますがクラス職員全員が揃わない時に情報の共有が十分でない事がありました。今後は情報伝達の意識を高め、内容や状況に応じて話し合いの時間を設けるなどして情報共有の徹底に努めます。						
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	13	0	0	・日々の記録については児童発達支援計画に沿って個々に作成した連絡ノートに記録されています。それをもとに月ごとの記録を作成し、振り返りを行っています。 ・子どもさんが安心感や満足感が得られる支援内容になっているか日々振り返り、適切な支援が行われるよう努めています。						
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	13	0	0	・年に2回児童発達支援計画の開示と見直しを行っています。また子どもさんの状況に応じてその都度支援の見直しを行っています。						

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	13	0	0	・児童発達支援管理責任者と各担任が参加できる体制を整え、よりよい会議になるよう努めています。						
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				非該当						
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				非該当						
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	13	0	0	・就学児や幼稚園・保育所等の移行児は保護者の方と共同でサポートブックを作成し、それをもとに学校や事業所などの関連機関と引継ぎ会を行い、情報共有しています。						

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	13	0	0	・放課後等デイサービスを利用する際には保護者の方と一緒に作成したサポートブックをもとに引継ぎを行っています。						
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	13	0	0	・発達障害に精通した医療機関のSTにスーパーバイズを受けています。						
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	9	0	4	・保育所・認定こども園・幼稚園との交流は行っていません。ひよこ園ではインクルージョンに不可欠なこととして、本人のセルフエスティームを育むこと、また保護者の方が子どもさんの持つ特性に起因する困り感に気づけるようになり、自ら子どもさんへの配慮や支援が考えられる「よき理解者になる」ことだと考えています。ひよこ園事業の療育支援はその点に重点を置いています。 ・並行通園の子どもさんには、療育等支援事業の施設支援を実施し、情報交換や情報共有を行っています。	13	1	6	9	・コロナの影響でないですが、うちの子どもは保育所や他の児発を併用しているのでカバーできています。 ・他の園との交流は聞いたことがないと思います。	・保育所・認定こども園・幼稚園との交流の機会についての考え方は事業所の現状評価欄に記載しています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	5	0	8	・新型コロナウイルス感染症の対策として、現在は、地域住民の方やボランティアの方の行事参加を控えてもらっています。						

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	13	0	0	•利用者負担等に関しては、重要事項説明書に記し、入園説明会や契約の際に細かく説明しています。また、園内にも掲示しています。支援の内容については、個別懇談等で進捗状況を説明し、情報共有しています。	29	0	0	0	•とても詳しく丁寧です。	
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	13	0	0	•児童発達支援計画を開示する際、支援の詳しい説明をすると共に使っている支援グッズの紹介を行っています。	28	0	0	0	無記入1	
	3	保護者の方の対応力の向上を図る観点から、保護者の方に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	13	0	0	•全体懇談会、療育参加、クラス懇談会等により、保護者の方に子どもさんの特性理解や支援の方法、関わり方などの情報提供の機会を多く持つようにしています。また、月1回の個別懇談で家庭との情報共有や連携を図っています。	29	0	0	0	•ペアトレのおかげで生活がかなりプラスに変わりました。 •支援のやり方など教えてくれるので家庭での支援が出来ています。	•共同療育者として、保護者の方と連携し支援を進めていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者の方との共通理解の徹底	13	0	0	•児童発達支援計画をもとに作成された連絡ノートでの日々のやりとりや電話連絡、月1回の個別懇談で共通理解の徹底を図っています。	29	0	0	0	•よく相談に乗っていただきアドバイス頂いています。 •連絡ノート、個別懇談、お迎えの時など教えてくれます。	•子どもさんの状況を正確にお伝えし、共通認識する事で子どもさんのよりよい発達が支えらえるよう努めていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	13	0	0	•月1回の個別懇談や日々の連絡ノート、電話での相談を通し、やりとりを行っています。気軽に話しやすい雰囲気づくりに心掛け、信頼関係が築けるように努めています。	29	0	0	0	•いつも頼りになるアドバイスをいただいています。 •いつも助かっています。ありがとうございます。	•保護者の方の悩みが解決できるようなアドバイスや支援の提案を行います。相談しやすい環境を整え丁寧なコミュニケーションが行えるよう努めます。

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者の方同士の連携支援	13	0	0	・必要に応じて支援できる体制を整えており、その都度適宜お手伝いしています。	27	2	0	0	・コロナの影響も少しずつ減り他の保護者の方の方と交流できる機会が増えています。	
	7	子どもや保護者の方からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者の方に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	13	0	0	・苦情窓口についていつでも確認できるようコドモンの資料室に掲示しています。	28	0	1	0		
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	13	0	0	・子どもさんへの関わりとしては、受容性、表現性の視点でコミュニケーション支援を行っており、子どもが情報を受け取りやすい環境を整え、発信する手段の確保を行っています。 ・保護者の方への情報伝達にはコドモン（ICT）を活用しています。	27	2	0	0		
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	13	0	0	・全体懇談会や行事について事前にお知らせしています。月1回「ひよこだより」、週1回「週の日程表」をコドモンで配信しています。	28	1	0	0		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	13	0	0	・契約の際、個人情報の取扱いについて保護者の方に説明し、同意書にも署名捺印して頂いています。個人情報を含む文書に関しては施錠出来る保管庫で保管し、個人情報を含むデータに関しては一元管理を行っています。またヒヤリハット活動により意識統一をしています。 ・個人情報が含まれているものを取り扱う時には、場所を限定するなど十分配慮しています。	29	0	0	0		

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	13	0	0	・保護者の方には契約時に説明し、園内に掲示するとともにコドモンで常時閲覧できるようにしています。年度初めに職員全体でマニュアル確認を行い、周知徹底しています。また、定期的に訓練を行い、反省や見直し等も行っています。	26	1	0	2	・資料室をちゃんと読んでおきます。 ・災害時どこに子どもは避難するのか、バスの時に起こったらどうするのかわからないです。	・新しいマニュアルが策定された場合は、速やかに保護者の方にコドモンで通達し、周知徹底をします。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	13	0	0	・月に1回消火訓練、年に1回震災訓練、その他強風、津波、不審者訓練、所在確認訓練を実施しています。訓練後、反省と改善をクラス内で話し合い、主任会でも話し合っています。また非常災害時もコドモンの活用により連絡手段を確保しています。	28	1	0	0	・毎月行ってくれているので初めはパニックだった子どもも今は落ち着いて訓練出来ているようです。	
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	13	0	0	・虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修の内容を検討しています。虐待防止研修やエンパワメント研修を実施するとともに、事例検討を行い職員全体の意識を高めよりよいかかわりができるよう努めています。						
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	13	0	0	・虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、その中で保護帽の利用についての確認を行っています。また保護者の方とも利用についての協議を行い、利用することになった子どもさんに関しては児童発達支援計画に記載しています。保護帽以外の拘束は基本的には行いません。						

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標
			はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見	
非常時等の対応（続き）	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	13	0	0	・毎年アレルギーに関するアンケートを配付し、アレルギーの有無の確認を行っています。医療機関を受診していない方に関しては医師の診察をお願いしています。指示書に応じて除去食（代替食）を提供しています。また提供する際には間違いがないようにトレイの色を変えることや置き場所など工夫しています。						
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	13	0	0	・ヒヤリハットがあれば、その日の終礼で報告するとともに月一度のヒヤリハット活動で取り上げることで職員全体の意識を高めています。						
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか					28	1	0	0	・いつもバスに嬉しそうに飛び乗って行きます。	・今後も子どもたちが楽しみに登園できる雰囲気づくりに努めます。
	2	事業所の支援に満足しているか					29	0	0	0	・とても満足した3年間でした。ありがとうございます。支援グッズやコピー代は都度集金ではなく、例えば年一人当たりいくら、月いくらになればお願いしやすくなり、子どもの支援の幅も広がるなとは思います。	・教材作成の量や頻度には個人差があるため、教材費の徴収額を一律にするのは難しいです。お支払いに関しては、ご都合のいい時（土曜日以外）で構いません。 ・今後も保護者の皆様が療育に満足して頂けるよう質の向上に取り組んでまいります。